No.08

移住者ってどんなひと？

南相馬の

かっこいい

おとな手帖

東京都 → 南相馬市

おとな手帖

No.08

大好きなトマトを育てる仕事で
何事も恐れずに挑戦していく

今回のかっこいい大人

時谷（ときや） 一圭（いっけい） さん（23）

神奈川県川崎市生まれ

お仕事　南相馬復興アグリ株式会社
グロアー見習い

移住歴　2022 年

7 歳	22 歳	23 歳
神奈川県川崎市で過ごす	東京都多摩市へ家族で引っ越し。大学では生物学について学ぶ	南相馬市へ移住し、南相馬復興アグリ株式会社へ入社

トマトの生育のため、３m ほどの高い苗を上から剪定する時谷さん

連なって実るトマトはキラキラ宝石のよう

高校生記者が

時谷さんにQ&A聞いてみた！

Q1. 南相馬復興アグリに就職することを決めたのはどうしてですか。

A. 小さい頃から、農林水産省で働いている祖父の家にいることが多く、花や野菜などの植物が周りにある環境で育ちました。そこでいろいろな植物に触れるのが面白いなと思って、農業に興味を持ちました。大学を卒業するまで農業経験はありませんでしたが、仕事は農業に携わりたいと決めていました。

就職活動の際に、インターンで南相馬復興アグリに来てその場の空気に触れたときに、自分に合っていると感じました。トマトが好きなので、他のトマト農家も選択肢にありましたが、南相馬復興アグリを選んだのは衝撃的な味のおいしさが決め手です。生産に携わるのであればおいしいものがいい、自分で育てたいと感じました。ゼロからのスタートで大変ですが、やりがいを感じて楽しく働いています。

Q2. 南相馬市に来て感じたことを教えてください。

A. 子どもの頃から祖父母の親戚が住んでいる秋田県に行く機会がよくあり、東北の人の温かさを感じていました。そして就職活動で初めて南相馬市を訪れたときにも人の温かさや良さを実感し、就職するなら東北に移住したいと決めたんです。親戚や知り合いはいませんでしたが、自分のやりたいことができるので、移住に不安はありませんでしたね。来る前は人の活気があるのか心配だったのですが、想像よりもにぎわいがあって良かったです。

気候も過ごしやすいです。東京と違って、緑が多く自然に囲まれている場所なので、趣味のサイクリングでは、「きれいだな」と思いながら、帰るのが大変なところまで夢中で走ってしまいます。気候や人とのちょうどいい距離感が自分に合っていると思います。

わたしが記事にしました！

編集後記

齋藤 美咲
小高産業技術高校 3年

子どもの頃の夢を叶え、おいしいトマトを作り続けていくことに挑んでいる時谷さんや、農園の皆さんの偉大さを感じました。「仕事はすべてが理想通りにはいかないけれど、何でもプラスに考えて」と、4 月に就職を控える私に自信がつく言葉をくださいました。

時谷さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく！
Webサイトの記事はこちら→

My favorite Minamisoma

南相馬のお気に入り

尚ちゃんラーメンのみそラーメン

Naochan Ramen's MISO-RAMEN

原町区にある定食屋「尚ちゃんラーメン」のメニューはボリューム満点。なかでも「味噌ラーメン」は、味噌の風味が好みでお気に入りです。自分にとって、外食はご褒美なので「今日は頑張った!」という時に食べに行きます。自転車に乗るのが趣味なので、南相馬を走りながら、お気に入りの店を開拓していきたいです。

ORIORI

移住者ってどんなひと？南相馬のかっこいいおとな手帖って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。
彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。
「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前の環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる!?

Publisher：南相馬市役所　移住定住課
Direction：marutt Inc.
Editor：小野民、蒔田志保、齋藤美咲
Designer：高木市之助
Photographer：鈴木穣蔵

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→